



みんなでつくろう！10年後の徳島市

SDGs Future City TOKUSHIMA

徳島市SDGs未来都市フォーラム

令和6年11月12日(火)開催

SDGsの実現に向けて、先進的な取組を行っている企業と個人の表彰のほか、10年後の徳島市について語り合うワークショップなどを行う「徳島市未来都市フォーラム」をシビックセンターにて開催しました。

ワークショップには、遠藤市長をはじめ様々な分野から多くの人々が参加し、より良い未来の徳島市のまちづくりについて語り合いました。

詳しくはこちら



SDGs（持続可能な開発目標）の目標年次である2030年の到来まで、残すところ5年となりました。

将来を担う子どもたちにより良い世界を残すため、私たちが自分ごととして、環境はもとより、社会や経済についても、責任を持てる仕組みづくりに取り組まなければなりません。

徳島市は「SDGs 未来都市」に国から選ばれており、将来にわたって持続可能で、安全安心な幸福度の高いまちづくりに取り組んでいます。

誰もが自分らしく躍動し、誇りを持って住み続けることができる徳島市を、みんなで力を合わせてつくっていきましょう。

徳島市長 遠藤 彰良

徳島市長 遠藤 彰良



ワークショップの様子

徳島市ダイバーシティ経営企業認定制度

年齢・性別・障害の有無・国籍等を問わず多様な人材が活躍できる社会の実現を目指して、その能力を最大限に発揮することができる機会を積極的に提供するなど、ダイバーシティ経営を行っている中小企業等を「徳島市ダイバーシティ経営企業」として認定し、その取組を広く発信することにより、多様な人材が意欲的に仕事に取り組める職場風土の醸成や、働き方の仕組みの整備向上を図っています。

令和6年度は6社を認定し、令和6年11月12日開催の「徳島市SDGs未来都市フォーラム」にて表彰を行いました。



ダイバーシティ経営企業大賞

株式会社AIサポート

生き方の多面性と多様性を認め合い
存分に力を発揮し、活躍できる職場をめざして

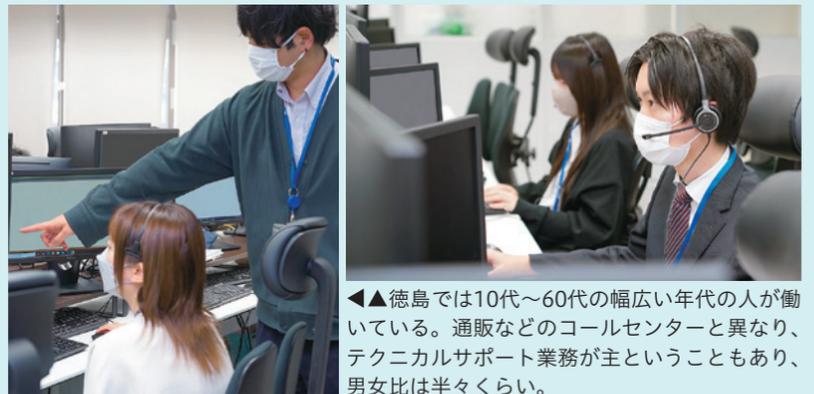


代表取締役 山口雄大さん

株式会社AIサポートは、コンタクトセンター事業を中心に人材派遣、代理店事業などを手掛ける企業です。本社は東京にあり、2019年、パソコンやスマートフォンをはじめとするIT製品などのテクニカルサポートやカスタマーサポートを行うコンタクトセンターを徳島に開設しました。コロナ禍を経て、Zoomなどのコミュニケーションツールも一般化しましたが、同社では以前からこうしたツールを活用し、「隣の部屋で仕事をしているような感覚」というほど、密に連携した業務環境を構築しています。

「年齢、性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての社員が個性を生かして、力を発揮できる職場を目指している」という山口代表取締役。その言葉通り、LGBTQ+や病気、障害、妊娠など一人一人の事情を汲みとり、時短や在宅ワークなどその人に合った働き方ができるよう、柔軟に対応しています。また、人事メンバーには「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」を受講し、精神障害や発達障害の知識を持った人も。就労支援センターや発達障がい者総合支援センターの担当者と連携し、療育手帳、精神障害福祉手帳を持つ人のための環境整備にも努めています。

こうした取組は様々なところで評価されています。日本の企業内で性的マイノリティが自分らしく働くことができる職場づくりを推進する団体『work with Pride』が設定する「プライド指標」において2019年から連続「ゴールド認定」、カスタマーセンター業務に従事する人の幸福度向上実現を目的とした『Well-being CUSTOMER CENTER AWARD』では2021年から4期連続受賞など、センターの壁に飾られたたくさんの賞状や証書からもダイバーシティ経営への熱心な取組がうかがえます。「誰もが気持ちよく働ける環境を整えることで、お客さまへより良いサービスを提供したい。この度の受賞も推進力になりました」と話しました。



◀▲徳島では10代～60代の幅広い年代の人が働いている。通販などのコールセンターと異なり、テクニカルサポート業務が主ということもあり、男女比は半々くらい。



▲『Well-being CUSTOMER CENTER AWARD』の受賞の様子。株式会社AIサポートは中途採用にも力を入れていて、研修やサポート体制も充実。育休後や病気療養後など「意欲はあるけれど、どのくらい働けるか不安」という人の相談にも応じ、その人にあった働き方を提案している。



株式会社AIサポート 徳島センター
徳島市南昭和町1丁目15番地1
TEL:088-676-3955
<https://ai-spt.jp/>

詳しくは
徳島市公式
noteへ



ダイバーシティ経営企業 (令和6年度認定)

株式会社ホンダカーズ徳島



花一面蝶自来
多様な人材が活躍
できる場に

1974年創業以来、ホンダ車の新車、中古車販売、自動車の車検点検、整備に加え、自動車保険、生命保険、火災保険の各種保険を取り扱っています。「花一面蝶自来／笑顔で輝ける社員(花)のところに皆さま(蝶)が集まる」を企業理念に掲げ、多様な人材が活躍できるよう、取り組んでいます。<https://www.hondacars-tokushima.co.jp/>

株式会社TABIJI



諦める世の中から
選べる世の中へ

障がい者就労支援施設『ゆいたび』、旅行や外出の付き添いをする『徳島ユニバーサルツーリズムセンター』を運営し、介護付き民宿やインクルーシブカフェなどとも提携しています。フレキシブルな勤務体制を取り入れ、障がい者雇用、定年後の再雇用、福祉人材の定着に繋がる環境づくりを行っています。<http://www.yuitabi.jp/>

株式会社金剛



創業75年の
「とくしまの事務機屋」

パソコンやタブレットなどOA機器やソフトウェア、建設業を支える測量システム、オフィス家具など、会社にとって必要な商品・サービスを取り扱う「とくしまの事務機屋」。徳島県全域をカバーできる人員体制を強みに、お客さまや地域と「ともに成長できる」経営を目指しています。<https://www.kk-kongo.co.jp/>

株式会社BON ARM (ボンアーム)



一人一人の想いと
生きる力を尊重する

徳島県内で4店舗の調剤薬局の運営と阿波藍(主に食)の事業を手がけています。資格取得のための教材提供と勉強会の実施、サンキューカードによる感謝の「見える化」、定期的な食事会やママ会の開催、子育て中の短時間勤務制度など、男女共に働きやすいウェルビーイング経営を実践しています。<https://www.bon-arm1.com/>

株式会社徳島データサービス



お客さまの信頼こそ
社会発展の基本

データエントリー業務やBPOビジネス業務を専門とする企業。社員の約6割が女性ということもあり、出産、育児で仕事を離れても復職しやすい企業風土があり、人材=人財と考え、誰もがキャリア、経験をいかして働けるよう、時短勤務やテレワークなどの柔軟な働き方を取り入れています。<https://www.tds-inf.co.jp/>

阿波女あきんど大賞

阿波女あきんど大賞とは、徳島の地域経済の活性化と女性の社会進出を支援するため、本市が各業界を代表する女性経営者とともに結成した「阿波女あきんど塾」が、阿波女の知恵と活力をいかし、徳島の経済活性化のため、活発に経済活動に取り組み、挑戦し続け、活躍している女性を応援する事業です。

令和6年度はSDGsが目指す「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて取り組む2人の女性が表彰されました。

詳しくは
徳島市公式
noteへ



▲阿波女あきんど塾のみなさんがプレゼンターとなって受賞者へ花束と賞状を授与しました。

阿波女あきんど大賞 経営者部門

一般社団法人うみのこてらす

代表理事

かわべ

えみ

川邊 笑さん



2000年生まれ。筑波大学教育学類卒。関東の認定NPO法人で3年間学習支援インターンとして活動。その後「地域間格差・教育格差をなくしたい」と地元徳島へ戻り、居場所活動をはじめ。

どんな場所に生まれても その子らしい社会的自立が叶うよう、夢の伴走者でありたい

教員を志し、関東の大学へ進学。在学中のボランティア活動を通じて、貧困や不登校、虐待といった様々な問題に接したことをきっかけに、20歳で子ども支援を目的とした団体を設立。2023年に『一般社団法人うみのこてらす』として法人化し、現在は生まれ育った牟岐町を中心とした海部郡域と徳島市で活動されています。

過疎化、少子化といった問題は、地方で暮らす子どもたちにも大きな影響を及ぼしていると話す川邊さん。学習や体験機会喪失、小・中学校を通して1度もクラス替えがなく、少人数が故の逃げ場のない人間関係に生きづらさを感じている子も少なくないそうです。「こうした教育格差、地域間格差により人生をあきらめてしまう子を日本中からゼロにしたい。そのために地方から現状を変えていきたい。過疎地に生まれても多様な人と繋がり、学ぶ環境があり、その子らしい社会的自立が叶うよう、粘り強く向き合い、伴走していきたい」と、子どもの居場所づくり事業を核に、地域との交流を目的とした「てらす食堂」の運営、ひきこもり傾向の子どもたちへの訪問型学び支援「ホームフレンド事業」を展開。学校や企業、専門機関と連携しながら

徳島発の子ども支援モデルの確立を目指されています。

授賞式では「5年後には徳島県内に、10年後には日本中の地方に、この活動を広めたい」という目標を掲げ、会場から大きな拍手が贈られました。



▲活動の様子。海部郡域だけでなく、徳島市内にも拠点を設け、徳島市内の中高生を対象とした「居場所cafe」を運営しています。大学生と連携し、様々なロールモデルと子どもたちが接することのできる場所として毎月第1、3金曜の夕方に万代中央ふ頭の『クレエール』の一角で開催しています。詳しい内容はInstagram、公式LINEで発信中。

・場所：徳島市万代町5丁目71-4 クレエール内
・利用方法：事前登録不要。質問等はDMが公式LINEへ。



一般社団法人
うみのこてらす



ホームページから
寄附も受付中！

阿波女あきんど大賞 個人・グループ部門

株式会社阿波銀行 国府支店

支店長 山田洋子さん



2000年に総合職として入行。入行当初から融資営業を希望し、本部の融資案件審査部門や法人融資案件を担当する融資役席も経験。行内の女性活躍推進にも携わり、後進のための新たな道を切り拓いている。

女性ならではの共感力をいかし、 大好きな徳島を、みんなと一緒に元気にしたい！

「入行当初からお客さまの元へ出向いてお話をお聞きし、一緒に地域を盛り上げていきたいという気持ちが強く、『法人営業を担当したい』と希望していた」という山田さん。審査部の案件審査係などを経て念願の法人営業を担当することになると、好奇心旺盛な性格も相まって、担当者や経営者に話を聞き、現場の声や課題を丁寧に収集。企業の成長を支援しようと奮闘する山田さんの姿に、法人営業＝男性という行内外のイメージも変化していったといいます。

こうした経験から「私のように法人営業を希望する女性行員もいるかもしれない」と、事業性融資業務に強い女性行員を育成するプロジェクト「LIT」を立案。また、行内の女性活躍推進のための制度改革に関わる「AWAdONNA（アワドンナ）」プロジェクト発足にも携わり、女性が働きやすい職場環境の整備にも尽力しました。

さらに自身の産休、育休経験を反映し、「ママWAdONNA（ママワドンナ）」プロジェクトも手掛け、妊娠中から育児休暇中、職場復帰、子育て期などその時々に必要なサービスや支援を受けられる仕組みづくりにも着手。プレパパマ

マ研修会や託児サービス、ママ同士の交流会などを通じて、仕事と子育ての両立をサポートしています。授賞式では「女性としていろいろな経験ができたことを感謝しています。誰もが笑顔で活躍できるように、これからもチャレンジを続けていきたい」と抱負を語りました。



▲「ママWAdONNA」プロジェクトの活動の様子。「ママWAdONNA」プロジェクトは育休中に思い付き、「復帰したらすぐやろう！」と心に決めていたそう。細やかな育休制度の説明や個別相談、スムーズな職場復帰をサポートする「復帰サポート留学」といったユニークなプログラムも。山田さんが関わるプロジェクトには自身の体験や共感力がいっています。

株式会社阿波銀行 <https://www.awabank.co.jp/>

徳島市は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「徳島市ゼロカーボンシティ宣言」を、令和5年12月に行いました。カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの活用や省エネ対策の推進などの取組を加速させていきます。

CO₂ 削減チャレンジ事業所

Pick up!

取組紹介



新しい木材を使わず、既存のデッキ材を研磨して再利用する工法により、しんまちボードウォークのリニューアル工事を行っています。従来工法と比較して、約130トンのCO₂排出量削減が見込まれます。

工事の仕方一つでも
二酸化炭素の排出量を
減らせるんだね!!



令和6年度認定事業所一覧

- 大鵬薬品工業株式会社 徳島工場
- 協同組合 徳島総合流通センター
- 大塚食品株式会社 生産本部 徳島工場
- 大塚製薬株式会社 徳島工場
- 大塚製薬株式会社 徳島第二工場
- 大塚倉庫株式会社 四国支店

徳島市では、CO₂をはじめとする温室効果ガスの排出削減につながる活動に積極的に取り組む事業所を「CO₂削減チャレンジ事業所」として認定しています。

11月12日(火)に開催した「徳島市 SDGs未来都市フォーラム」において、令和6年度認定事業所の認定式を行うとともに、前年度認定事業所の取組に対して表彰を行いました。



今後、より多くの
事業所の皆さんの参画を
お待ちしております!

トクシー



◀前年度認定事業所の皆さま

詳しくはこちら▶



SDGs
こども
未来チャレンジ

SDGsの理念や具体的な行動について、体験しながら、楽しく学んでもらえる「SDGsこども未来チャレンジ」を、11月24日(日)に「とくしまマルシェ」の会場で開催しました。電気で動くひょうたん島周遊船「HARMO艇」の無料試乗会や連携企業などによるSDGs体験ブースの出展、小学生によるSDGsフリーマーケットなどが行われました。

SDGs21世紀フリマ

子どもたちが自分で作った小物やアクセサリー等を工夫して販売しました。

はじめてに
たくさん
であったよ!



HARMO艇の試乗会

徳島市は、令和4年度からヤマハ発動機株式会社と連携し、ひょうたん島周遊船の電動化に向けた実証実験を行っています。

この日は、過去2年間の実証実験で使用した2種類の「HARMO艇」を乗り比べることができる、無料試乗会を開催しました。

今後、水都とくしまを象徴する地域資源として、環境にも優しいひょうたん島周遊船の運航体制を築いていきます。



ペットボトルでランタン作り

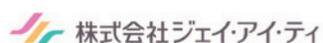
飲み終わったペットボトルはどこに行くの?ランタン作りを通じて、楽しみながらリサイクルについて学びました。



日産サテオ徳島

日産わくわくエコスクール

SDGsとクルマにまつわるお話を聞いた後、電気で動くモデルカーを作ってサーキットで走らせました。



「comotto」で遊ぼう!

親子で楽しみながら学べるデジタルコンテンツ「comotto」のクイズや学習動画を通じて、SDGsについて学びました。



内町まちづくり協議会

ゴミの分別クイズコーナー

普段捨てているゴミの分別方法は合ってるかな?ゴミの分別について、クイズ形式で楽しく学びました。

